

サミット特集

四谷の

千枚田だより

第 8 号

全国棚田(千枚田) 連絡協議会

都道府県	①	②	③	④
北海道				2
青森県		1		
岩手県		1		
栃木県	1			
宮城県		1		
新潟県	6	2	4	5
富山県	1	1		
石川県	2	3	1	
福井県		1		
長野県	1	2		1
埼玉県				2
千葉県	1		2	4
東京都		5	9	7
神奈川県			1	4
静岡県		1	1	
岐阜県	1	1	1	7
愛知県	1			1
三重県	3			
滋賀県	1			
京都府	1		1	3
奈良県	1			
和歌山県	1	1		
大阪府	1		1	2
兵庫県	3	1	2	1
岡山県	5	1		
広島県		1	2	1
鳥取県	1			
島根県	3	1		
山口県	3	1	1	
徳島県	2		2	3
愛媛県	4			
高知県	3		1	1
福岡県	4	1		6
佐賀県	8	3		1
長崎県	5	1		2
熊本県	2			
宮崎県	4			
鹿児島県	1	1	1	1
合計	70	31	30	54

都道府県別各会員数

- ①自治体正会員 70
- ②団体正会員 31
- ③個人正会員 30
- ④個人賛助会員 54

(平成15年9月現在)

全国棚田(千枚田)連絡協議会とは

日本各地には山から流れ出す水を蓄え、ダム代わりに果たしながら稲を育て日本の国土を守り命を育てきた棚田があります。急峻な山脈に棚のように、また、山の斜面や丘陵地に段々と折り重なり、その曲線美を見せる四季折々の棚田の風景の美しさは、はるか太古の昔から日本の農業の原点として日本人の心と潤いとやすらぎを与えてきました。しかし、全国一千余に及ぶ棚田は、経済効率重視の風潮や担い手の減少などにより荒廃化が進み、今や存亡の危機に直面しています。

そこで、日本の農業の歴史的文化的遺産、資源として、国民全ての財産である棚田の役割を見直し、先人達の知恵を学び、環境保全、国土保全と農村文化を考えていこうと、平成7年9月に本会が設立されました。

協議会は、棚田を有する市町村、各種団体及び個人が、棚田を通してネットワーク化を図る組織として、会員の主体的な参加を通じて、地域の活性化を図ることを目的としています。

協議会の主な事業

1. 棚田についての情報交換、交流に関すること
2. 棚田に関する歴史、実態、活用に関する調査
3. 講演会、講習会、サミット、文化的行事等の推進
4. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

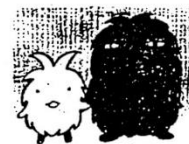
サミットとは

全国の棚田を有する市町村、棚田保全に取り組む団体、個人が一堂に会し、環境保全や生産の場としての水田、文化遺産としての棚田保全の意義や必要性をお互いに理解しあい、都市住民など多くの国民の理解と合意を得て、中山間地域の維持活性化につなげることを目的に、全国棚田(千枚田)サミットが行われています。

棚田(千枚田)サミット開催地とテーマ

開催地	テーマ
第1回 1995 高知県 梶原町 千枚田	棚田のきのう・きょう・あした ～棚田を守るのは誰か～
第2回 1996 佐賀県 西有田町 岳の棚田	棚田・未来を耕す ～都市と共生の中で～
第3回 1997 長野県 更埴市 田毎の月 姥捨の棚田	棚田・いま時代と共に ～国民理解を求めて～
第4回 1998 新潟県 安塚町 上船倉の棚田	～棚田と私たちの関係～ 棚田は、都会の私と田舎の私の橋渡し
第5回 1999 三重県 紀和町 丸山千枚田	未来につなげ水のピラミッド ～人と地域の「元気おこし」～
第6回 2000 福岡県 浮羽町 つづら棚田	棚田新世紀(対ガールズ) ～小さな棚田、大きな役割～
第7回 2001 石川県 輪島市 白米の千枚田	水と心のダムサイト ～日本海の風に乗せた先人の英知～
第8回 2002 千葉県 鴨川市 大山千枚田	棚田と都市 ～保全と共生～
第9回 2003 岐阜県 恵那市 坂折棚田	棚田とともに生きるふるさと ～整備と保全～
第10回 2004 佐賀県 相知町 蔵野の棚田	サミット10年 日本の「農」と「食」を見直そう！棚田からの提案
第11回 2005 愛知県 鳳来町 四谷千枚田	
第12回 2006予 宮崎県 日南市 坂元棚田	

千枚田の千の石垣
手に積みし
遠きみ親の
四谷志ずる
血の滲みたる



愛・地球博
AXPO
2005 AICHI
JAPAN



棚田サミット
2005 鳳来町
四谷千枚田

景観整備

三月二十一日(日)と四月四日(日)に千枚田入り口周辺の杉木立の伐採・集材作業を保存会と所有者の有志で行いました。

伐採、集材については手慣れたもので、チェーンソーで伐採を行う者、玉切りをする者、また、レッカーで丸太をトラックへ積み込む「玉掛け」をする者などそれぞれの手得手でスムーズに作業が進みました。

同時に、木立の枝葉が観光バスなどに当たり、車体にキズがつくなどの苦情のあった県道(二十二号線)に覆い被さった枝木もリースした高所作業車で手際よく切り取られました。

四月四日は一日中雨で肌寒く大変な作業日和でした。大変ご苦勞様でした。また、山林所有者の好意的な協力にお礼申し上げます。

黒大豆入り金山寺みそ作りと四谷の千枚田散策会

三月二十五日、都市農村交流事業の一環として千枚田散策会が行われました。

参加者は、一様に千枚田の素晴らしい景観に感嘆し、そして「農作業に厳しい棚田を守っていてくれる地元農作者に頭が下がる思いだ」などの感想をいただきました。

景観道(耕作道)の効用

▽通学路

連谷小学校の大代地区の児童は、狭い県道を自動車があると土手にはいつくばるようにして車を避けたり、風雪にさらされ、掘り割り化し、雨でも降つたら道が河原になって、滑つて危険な「細尾坂」を通学路としていましたが、「ふるさと水と土ふれあい事業」で千枚田の中央に整備された景観道を通学路に変更しまし

た。もうこれで交通安全の面でも、また、危険な細尾坂で滑つて転んで怪我などするような心配もなくなりました。

▽ウォーキング

景観道が格好なウォーキングコースで地元の人達で賑わっています。

利用している人達に聞いたところ体重が2kgも減った。便秘が解消された。血圧も安定した。イライラがなくなったなど、この景観道が地元の人達の健康管理に大いに役立っていることが伺われました。

全国棚田連絡協議会理事会が行われました。

三月二十五日(木)、東京(ルポール麹町)において理事会が開かれ、副会長の町長さんが出席しました。

会議の内容は、恵那市で開催された棚田サミットの報告と相知町で開催される

サミットの計画の発表などでありました。

CBCテレビで千枚田が放映されました。

四月一日、CBC TV夜六時三十分から鳳来町を紹介する番組で千枚田が放映されました。

エコスポットあいち

あいちの自然百選「(既報)に選ばれた四谷の千枚田の情報」はエコスポットあいち豊かな自然セレクション100で四月から紹介されています。

保存会役員会

四月十四日、町農政課を招き役員会が開催されました。議題は平成十六年度事業について「役場関係」全国棚田サミットの計画立案、鳳来町実行委員会組織の立ち上げ他「保存会関係」地元実行委員会の立ち上げ、景観保全及び復田整備事業について他

体験学習

五月十八日(水)、静岡県の三ヶ日中学二年生が千枚田で田植えや此処で穫れた美味しいご飯を食べてみるなどの体験学習が行われます。

耕作者にお願

耕作道内の駐車はお互いに迷惑のかけない場所に行きましょう。

湧き水

▽何にしても、どえらいことをやったもんだ。

千枚田と鞍掛山を見上げる一番の見所である田圃の入り口に丁度カーテンを張つたように遮っていた杉の木を、持ち主の理解と保存会員の勤勞奉仕で伐採、おかげで、四谷の千枚田も天に誇れる眺望になった。いや、全く千枚田も男振りあげたもんだ。(舜)

発行 平成十六年四月二十日

鞍掛山麓 千枚田保存会